

丸山文庫報告

丸山文庫所蔵資料の公開と利用状況（二〇一七年）

渡辺 浩・川口 雄一

丸山眞男文庫所蔵資料の整理・公開については、二〇一六年二月までの作業の概要を、『東京女子大学比較文化研究所附置丸山眞男記念比較思想研究センター報告』創刊号から第十二号までの各号に掲載しました。今号では、二〇一七年一月から二月までの資料公開と利用状況を記します。二〇一七年一月から三月までの資料の調査・整理状況については、前号に掲載した「丸山眞男研究プロジェクト活動報告」中の「② 丸山眞男文庫所蔵資料の調査研究とデジタルアーカイブ構築」（黒沢文貴執筆）、または東京女子大学丸山眞男記念比較思想研究センター編集・発行『20世紀日本における知識人と教養——丸山眞男文庫デジタルアーカイブの構築と公開』（二〇一七年三月）中の「全事業一覧」（安藤信廣・黒沢文貴編）の該当箇所をご参照ください。

I 資料の公開

丸山文庫所蔵の草稿類資料「E.H. ノーマンを偲ぶ会」（南原繁主催、

1957.5.4、unofficial）の英文記録」（資料番号216-26、ブリティッシュ・コロンビア大学が原資料を所蔵）を公開しました。東京女子大学図書館にて閲覧可能です。

そのほか、この間に進めた資料の調査・整理の詳しい情報を、草稿類デジタルアーカイブ (<http://maruyamabunko.twcu.ac.jp/archives>) にて公開（更新）いたしました。

II 利用状況

①資料の閲覧・アクセス

二〇一七年一月から二月までの間に、のべ一〇人の方が、東京女子大学図書館へ丸山文庫資料の閲覧・調査に訪れました。

二〇一七年、バーチャル書庫へのアクセス数は、二五八二件ありました。また、草稿類デジタルアーカイブに、二七八九件のアクセスがありました。

②丸山文庫の見学

この間、個人資料アーカイブの調査などを目的として、七組の方々が丸山文庫を見学されました。

③取材

・『産経新聞』（二〇一七年六月五日）掲載の記事「桑原武夫氏の蔵書廃棄——背景に図書館への寄贈本問題」のため、記者より問合せがありました。

④資料提供

・二〇一七年六月および一二月、東京大学文書館へ丸山眞明文庫所蔵の南原繁関係資料の複製を提供しました。
・大修館書店発行『トータルサポート新国語便覧』（大修館書店編集部、二〇一八年四月刊行予定）のため、「[「である」ことと「する」こと] 草稿断片・メモ」（資料番号181-2）の画像を提供しました。

Ⅲ 資料の受け入れ

二〇一七年、丸山文庫へ以下の資料をご提供いただきました。厚く御礼申し上げます。

・川口重雄氏より、『葦』第四六号（田園調布学園中等部・高等部）
・岩波書店より、“The Structure of Matsurigoto”の植手通有氏による

和訳草稿ほか丸山関連資料二点および南原繁関連資料

・ヴォルフガング・ザイフェルト氏より、Japan und das Problem der Moderne, Herausgegeben von Urs Matthias Zachmann und Christian Uhl, IUDICIUM Verlag GmbH : München, 2015.

・高橋博巳氏より、丸山眞男発信書簡

・高木博義氏より、『私たちはどう生きるか 丸山眞男「知性の特質」に学ぶ』（私家版）および南原繁関連資料

・丸山彰氏より、丸山眞男肖像写真（すべて画像データ）

・宮田光雄氏より、『丸山教授 東洋政治思想史——昭和二十五年度講義——』（一・二、東京大学消費生活協同組合教材部、一九五〇年）

Ⅳ 立命館大学加藤周一現代思想研究センターとの協力

協定

二〇一七年度、丸山眞男記念比較思想研究センターは、東京女子大 学理事会の承認を得て、立命館大学加藤周一現代思想研究センターと 学術協力協定を締結しました。立命館大学には加藤周一（一九一九— 二〇〇八）の蔵書・手稿ノートを収める加藤周一文庫があります。加 藤文庫は、蔵書が約二万点、手稿ノートの約一百万頁、後者のなかでも 貴重な「青春ノート」をデジタルアーカイブで公開しています。この たびの協力協定では、丸山文庫・加藤文庫の所蔵資料の関連性の調査 をもとに、さまざまな事業を展開してまいります。

二〇一七年二月までに進めた事業は以下の通りです。

・公式ホームページ、「Twitter」等での広報・宣伝（加藤周一現代思想研究センターの事業案内等）

・二〇一七年度「東女生が挑む 丸山眞男展」読書案内パンフレットの作成（丸山・加藤『翻訳と日本の近代』紹介文作成協力）

V その他

・二〇一七年七月三日から一〇月一三日まで、東京女子大学図書館との共催で二〇一七年度「東女生が挑む 丸山眞男展」を開催しました。

・二〇一七年七月より公式「Twitter」アカウントを作成、事業や資料などの情報公開サービスを開始しました。二〇一七年一二月末日現在のフォロワー数は一九九件です。

・二〇一七年九月・一〇月、東京大学出版会より、『丸山眞男講義録』別冊一（平石直昭・山辺春彦編）および別冊二（宮村治雄・山辺春彦編）が刊行されました。なお、関連する記事として、編者による鼎談「一九五〇年代の丸山眞男——『丸山眞男講義録』別冊全二巻刊行を機に」が『週刊読書人』二〇一七年一〇月一三日号に掲載されました。

・二〇一七年一〇月一九日、札幌大学主催・札幌大学創立五〇周年記念公開講座「個人文庫をもつ大学——その意義と可能性」において、川口雄一が「丸山眞男文庫の意義と展望——丸山眞男研究史のなか

の位置」と題して講演を行いました。なお、関連する記事として、講演の概要が『北海道新聞』二〇一七年一月三日付に掲載されました。